

令和元年10月台風第19号における出水の概要(第1報)  
【信濃川水系、阿賀野川水系、関川水系】

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

## 1. 出水状況

### ○氾濫危険水位超過

信濃川水系(千曲川、信濃川、魚野川)、阿賀野川水系(阿賀野川)、関川水系(関川)の  
3水系5河川9地点で氾濫危険水位を超過。

信濃川水系 : 千曲川 [生田、杭瀬下、立ヶ花]

信濃川 [小千谷、長岡、大河津]

魚野川 [小出]

阿賀野川水系: 阿賀野川 [馬下]

関川水系 : 関川 [高田]

## 2. ホットラインの実施

信濃川水系、阿賀野川水系、関川水系の3水系に関して36市町村にホットラインを実施。

信濃川水系 24 市町村、阿賀野川水系 11 市町村、関川水系 1 市

## 3. 緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信

信濃川水系、阿賀野川水系の2水系4河川で14回の洪水情報のプッシュ型配信を実施。

信濃川水系 : 千曲川(8回)、信濃川(3回)、魚野川(1回)

阿賀野川水系 : 阿賀野川(2回)

## 4. 主な施設被害

信濃川水系千曲川 左岸 58.0k(長野県長野市穂保地先) 堤防決壊

(応急復旧中)

信濃川水系千曲川 左岸 104.0k(長野県上田市諏訪形地先) 堤防欠損

(応急復旧中)

信濃川水系魚野川 左岸 25.0k(新潟県南魚沼市今町地先) 堤防欠損

(応急復旧中)

## 5. 主な一般被害

※調査中の速報値として確認できているもののみ掲載しています。

### ○新潟県

小千谷市 3件 (床下 3)

妙高市 9件 (一部損壊 3、床下 6)

阿賀町 38件 (床上 27、床下 11)

津南町 2件 (床下 2)

○富山県

朝日町 1 件 (床下 1)

○福島県

只見町 3 件 (全壊 1、床上 1、床下 1)

猪苗代町 5 件 (一部損壊 4、床下 1)

会津若松市 2 件 (一部損壊 1、床下 1)

磐梯町 2 件 (一部損壊 2)

南会津町 3 件 (床上 1、床下 2)

会津坂下町 2 件 (床上 1、床下 1)

郡山市 1 件 (床下 1)

喜多方市 1 件 (床下 1)

○長野県

未公表

※ 出典 新潟県資料「台風第 19 号による被害状況をお知らせします。」(第 5 報)(10/14 17:00)より

※ 出典 富山県資料「台風第 19 号による被害状況等について(第 4 報)(10/13 15:00)より

※ 出典 福島県資料「令和元年 10 月 12 日 台風第 19 号による被害状況即報(第 10 報)」(10/14 15:00)より

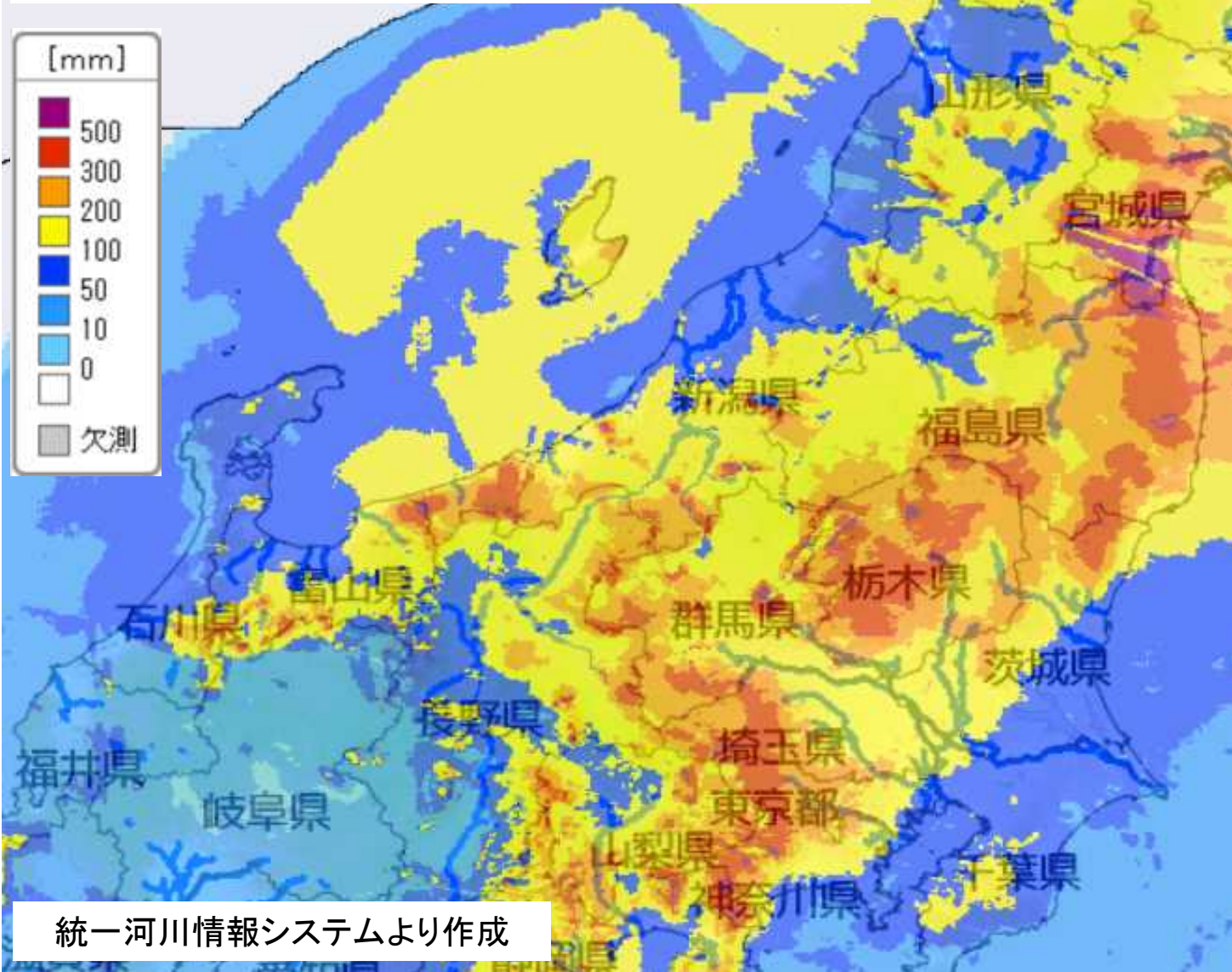
# 令和元年10月台風第19号における出水の概要 《第1報 10月15日 17時 時点》

※数値は速報値ですので今後の精査等により変更する場合があります。

国土交通省 北陸地方整備局 河川部

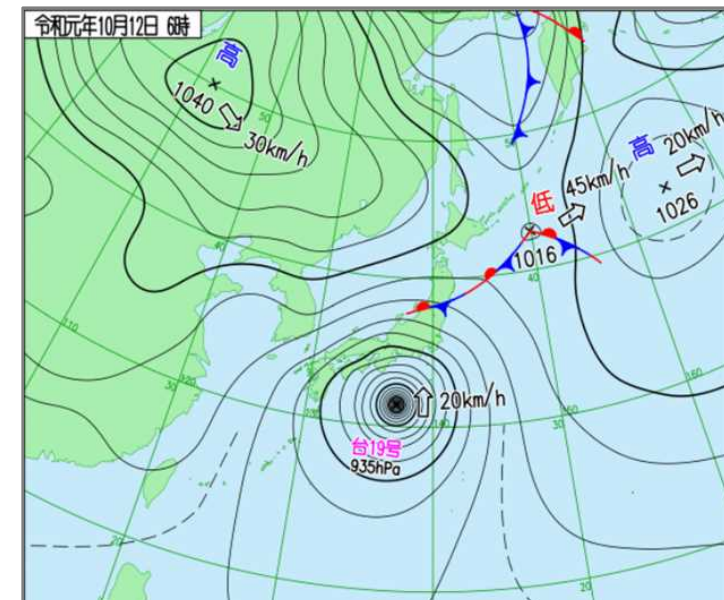
大型で非常に強い台風19号は、10月12日の夕方から夜にかけて、非常に強い勢力をたもったまま東海・関東地方に上陸し、台風本体の発達した雨雲の影響により、広範囲で記録的な大雨をもたらした。

■ 累加雨量 / 10月12日12時～13日24時(36hr)



統一河川情報システムより作成

天気図(10月12日6時、気象庁HPより)



○管内11の一級水系のうち、3水系5河川で氾濫危険水位を超過

## 1. 河川出水状況(直轄河川)

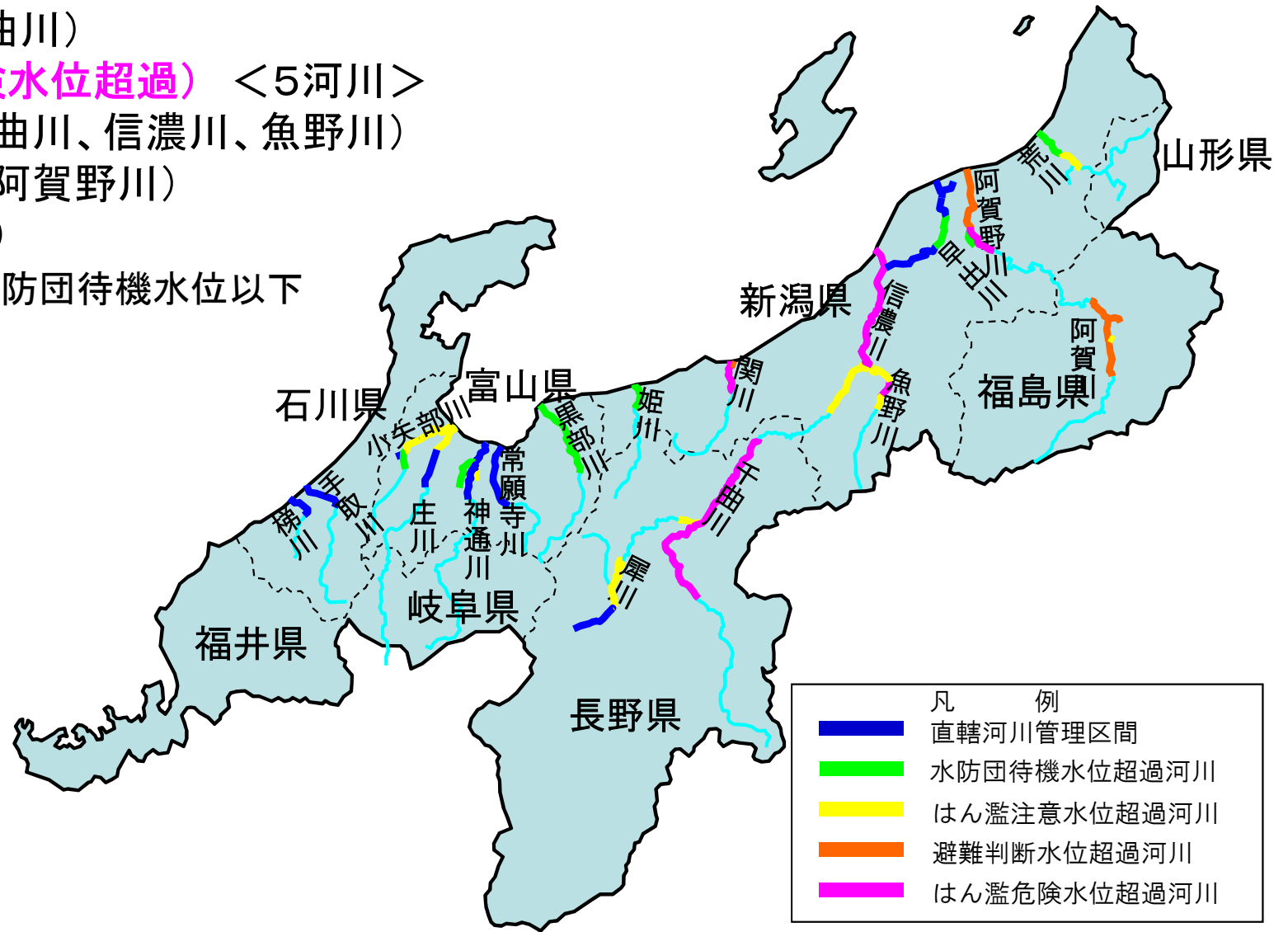
○レベル5(氾濫の発生) <1河川>

- ・信濃川水系(千曲川)

○レベル4(氾濫危険水位超過) <5河川>

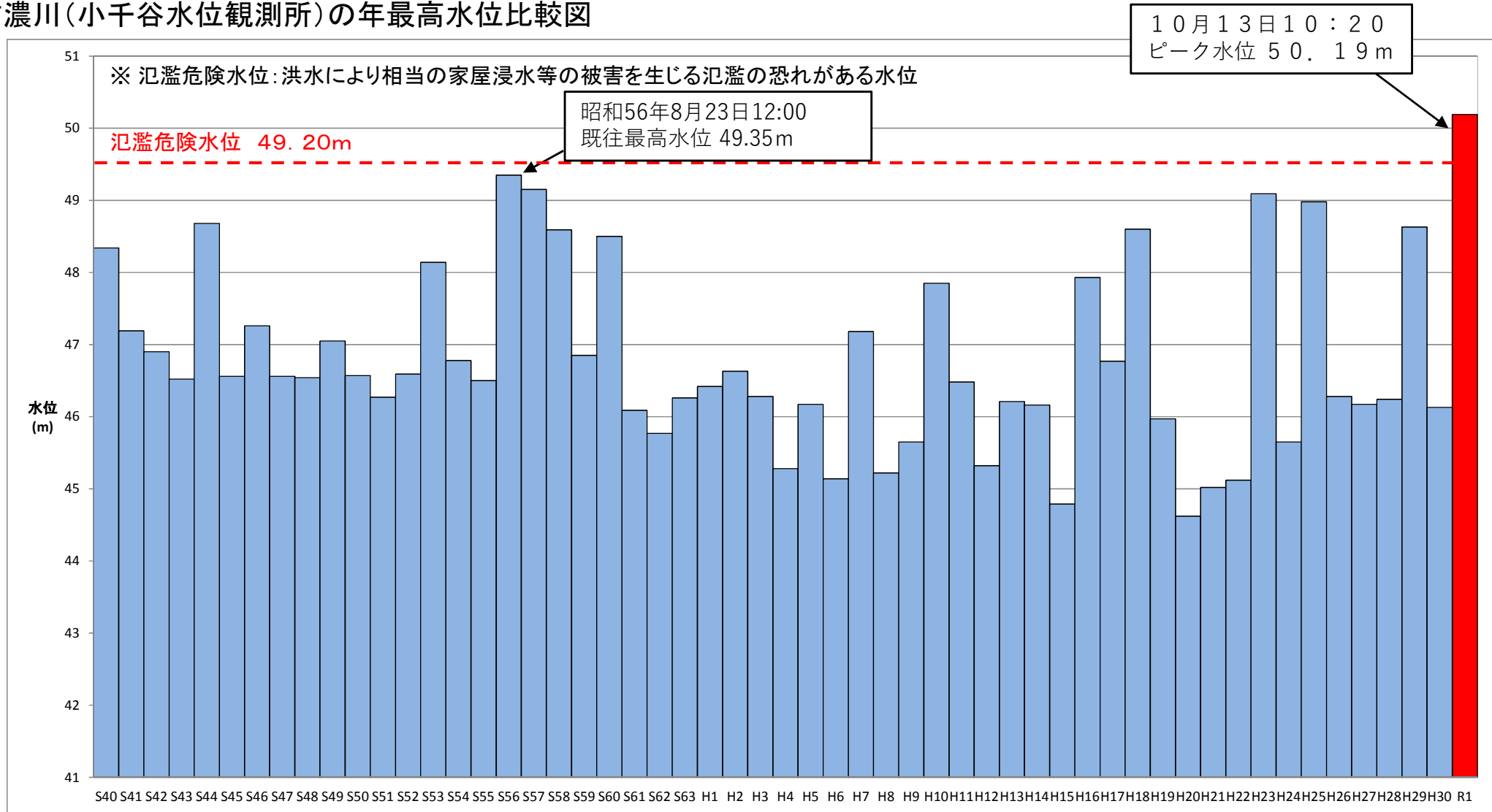
- ・信濃川水系(千曲川、信濃川、魚野川)
- ・阿賀野川水系(阿賀野川)
- ・関川水系(関川)

※現在水位は水防団待機水位以下



信濃川水系信濃川の小千谷水位観測所において、氾濫危険水位を超過し、10月13日10時20分にピーク水位50.19mを記録しました。

■信濃川(小千谷水位観測所)の年最高水位比較図



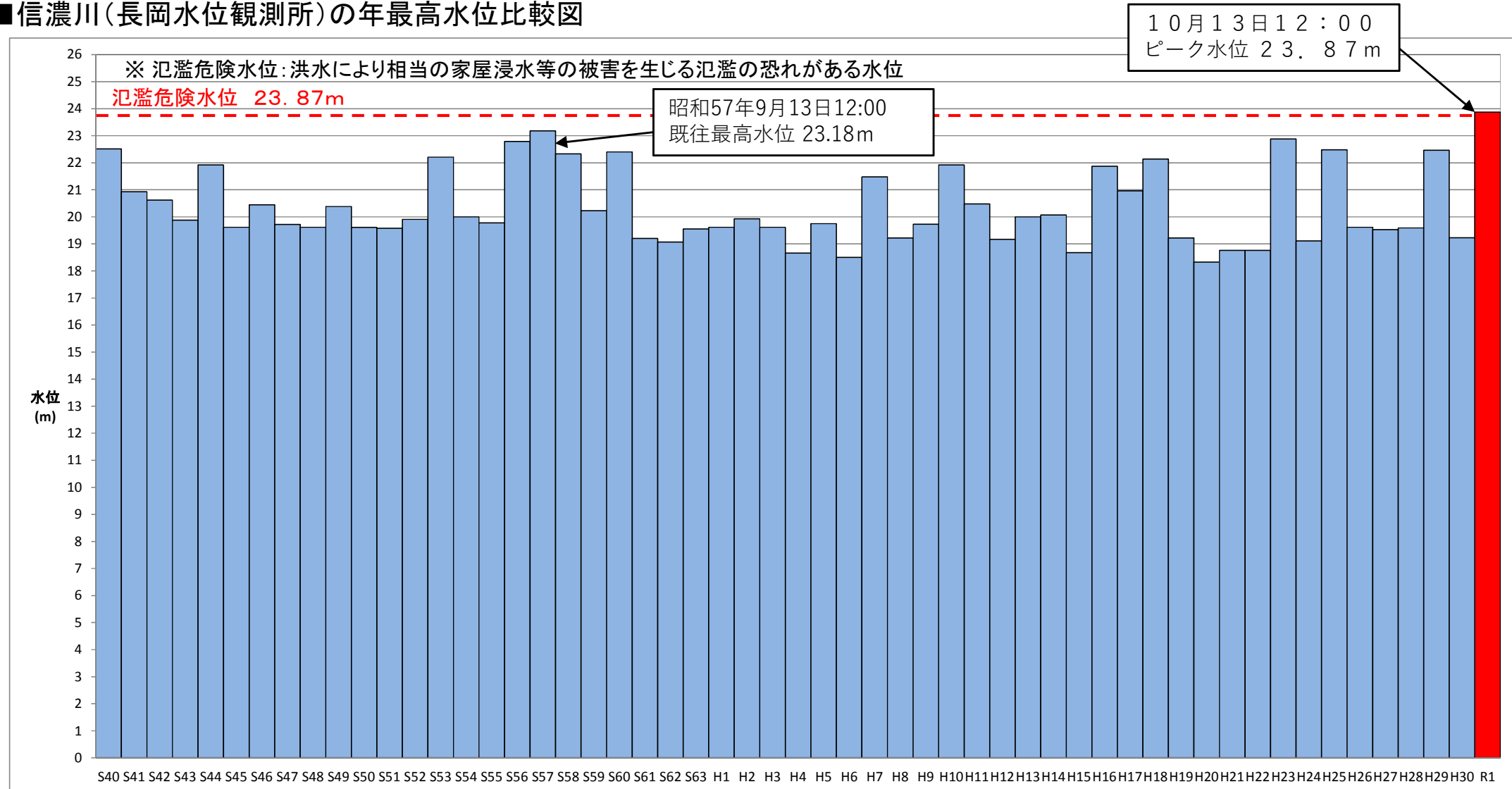
※ 本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

\* : 水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測であるが、比較が可能なようにデータを補填



信濃川水系信濃川の長岡水位観測所において、氾濫危険水位を超過し、10月13日12時00分にピーク水位23.87mを記録しました。

■信濃川(長岡水位観測所)の年最高水位比較図

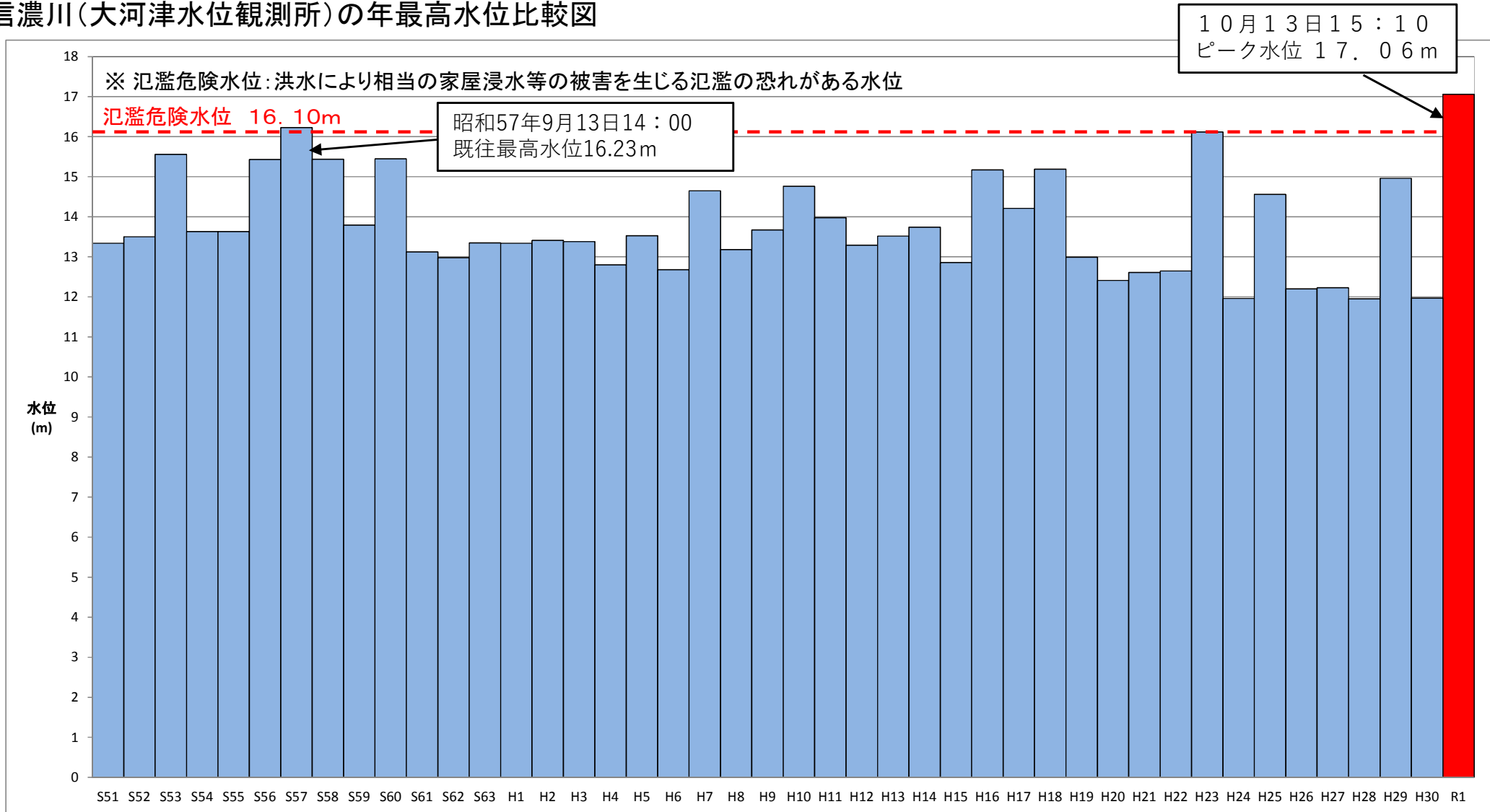


※ 本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

\* : 水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測であるが、比較が可能なようにデータを補填

信濃川水系信濃川の大河津水位観測所において、氾濫危険水位を超過し、10月13日15時10分にピーク水位17.06mを記録しました。

■信濃川(大河津水位観測所)の年最高水位比較図



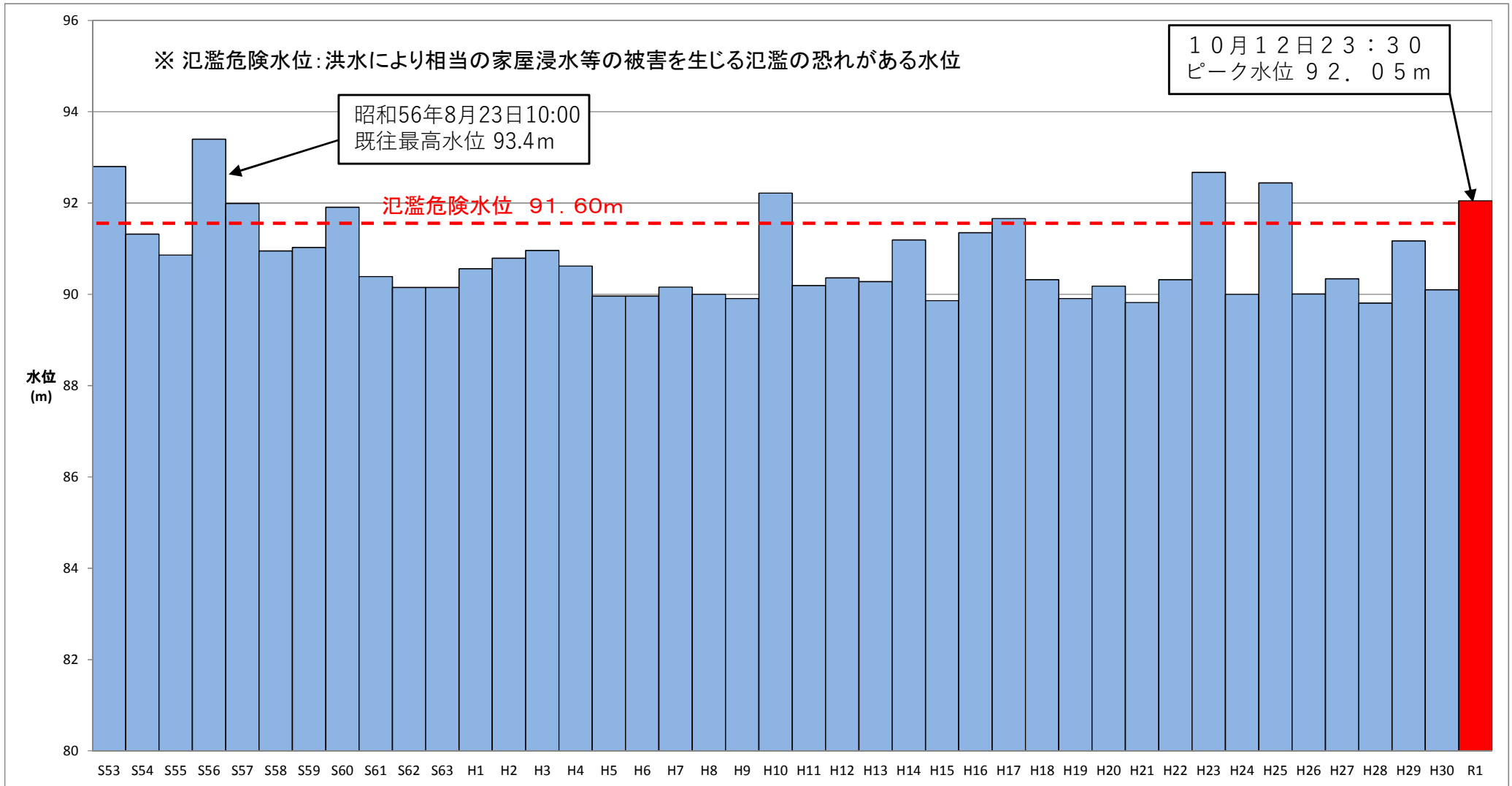
※ 本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

\* : 水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測であるが、比較が可能なようにデータを補填



信濃川水系魚野川の小出水位観測所において、氾濫危険水位を超過し、10月12日23時30分にピーク水位92.05mを記録しました。

## ■信濃川(小出水位観測所)の年最高水位比較図

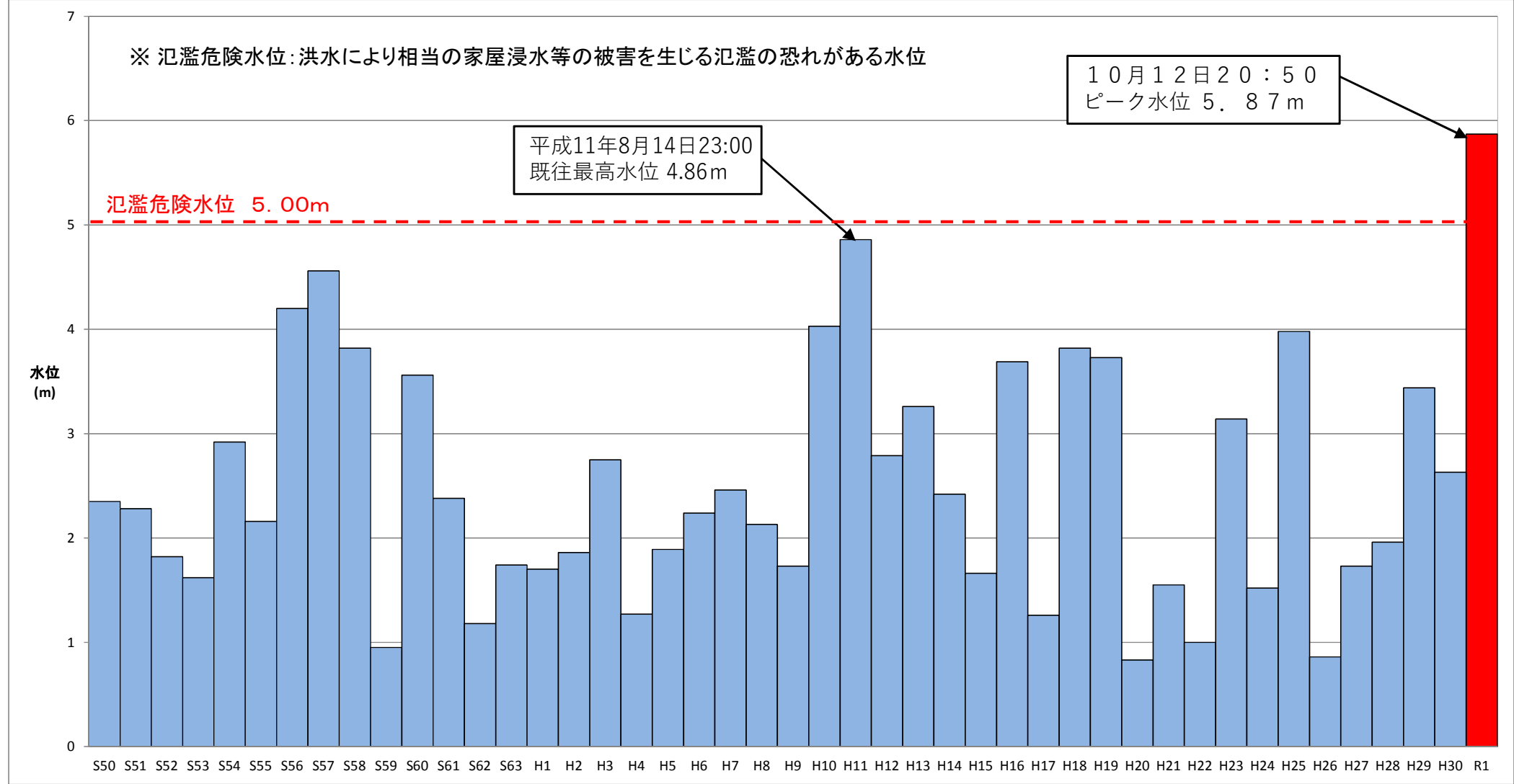


※ 本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

\* : 水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測であるが、比較が可能なようにデータを補填

信濃川水系千曲川の生田水位観測所において、氾濫危険水位を超過し、10月12日20時50分にピーク水位5.87mを記録しました。

■千曲川(生田水位観測所)の年最高水位比較図

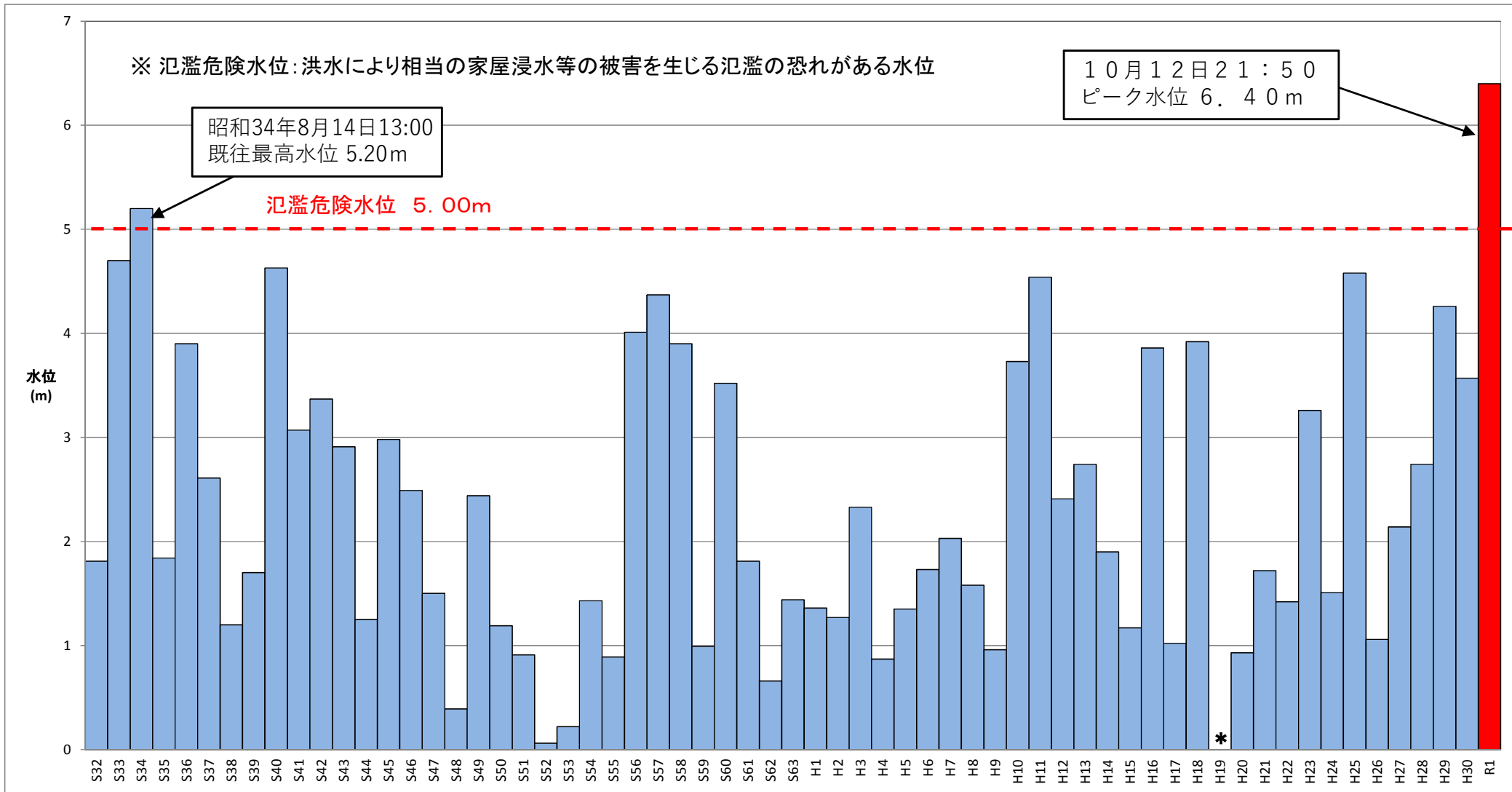


※ 本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

\* : 水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測であるが、比較が可能なようにデータを補填

信濃川水系千曲川の杭瀬下水位観測所において、氾濫危険水位を超過し、10月12日21時50分にピーク水位6.40mを記録しました。

■千曲川(杭瀬下水位観測所)の年最高水位比較図

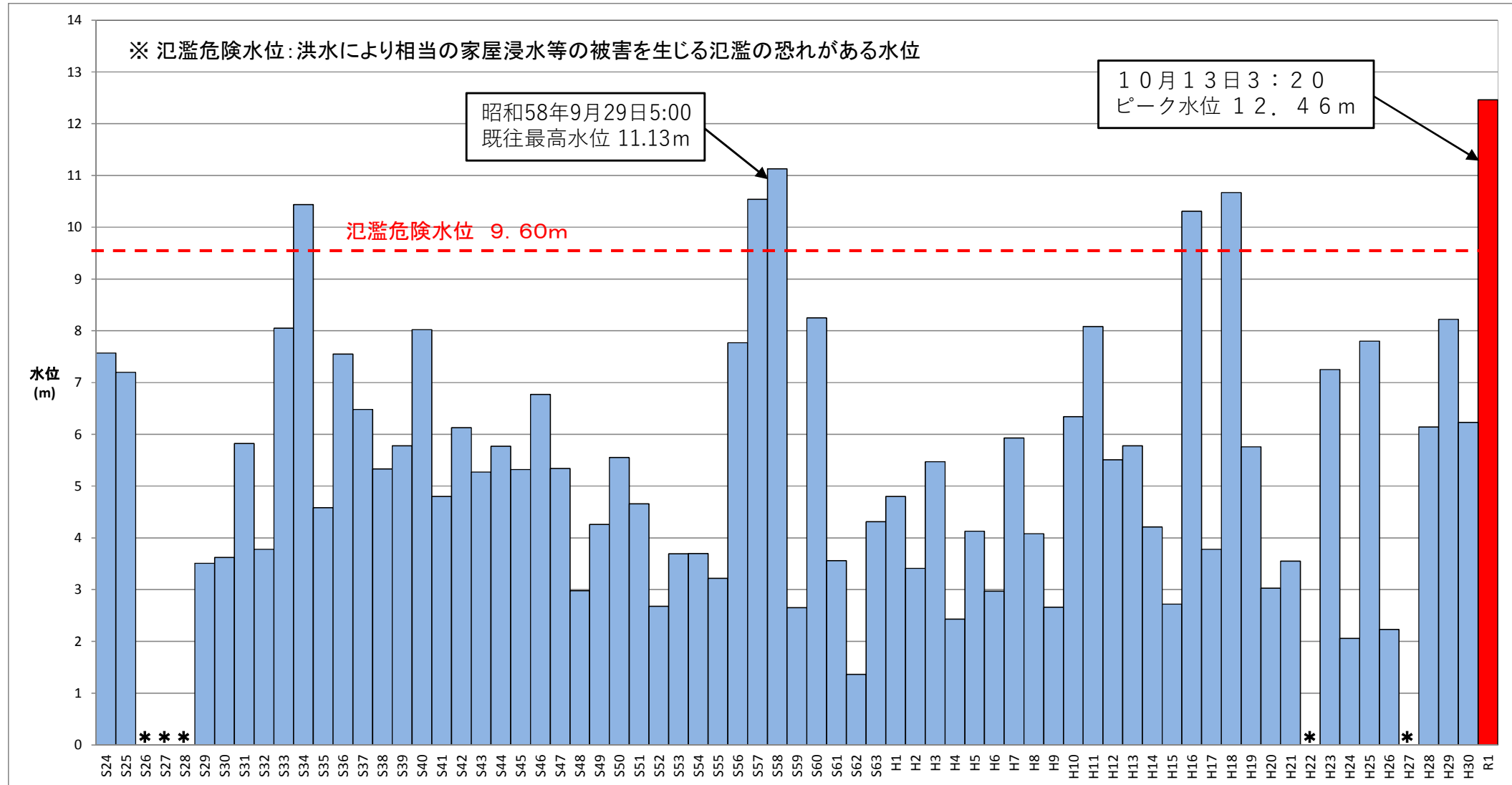


※ 本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

\* : 水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測である

信濃川水系千曲川の立ヶ花水位観測所において、氾濫危険水位を超過し、10月13日3時20分にピーク水位12.46mを記録しました。

■千曲川(立ヶ花水位観測所)の年最高水位比較図

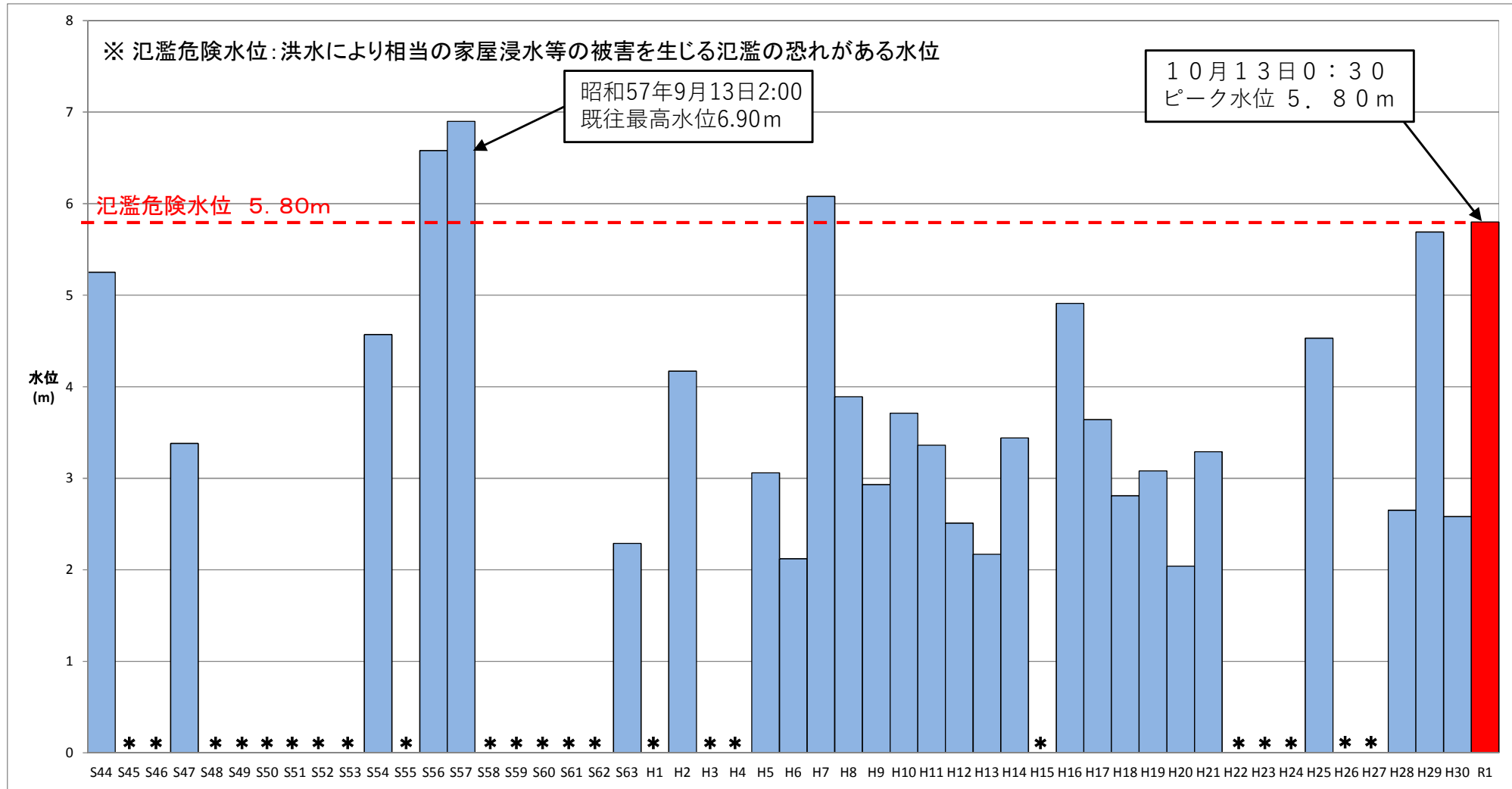


※ 本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

\* : 水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測である

関川水系関川の高田水位観測所において、氾濫危険水位を超過し、10月13日0時30分にピーク水位5.80mを記録しました。

■関川(高田水位観測所)の年最高水位比較図



※ 本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

\* : 水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測である



# 出水状況写真（阿賀野川水系阿賀野川）



10/13 6:50 阿賀野川左岸18k2 新潟市秋葉区中新田地先 阿賀浦橋付近



10/13 6:52 阿賀野川左岸23k 新潟市五泉市羽下地先 早出川合流点



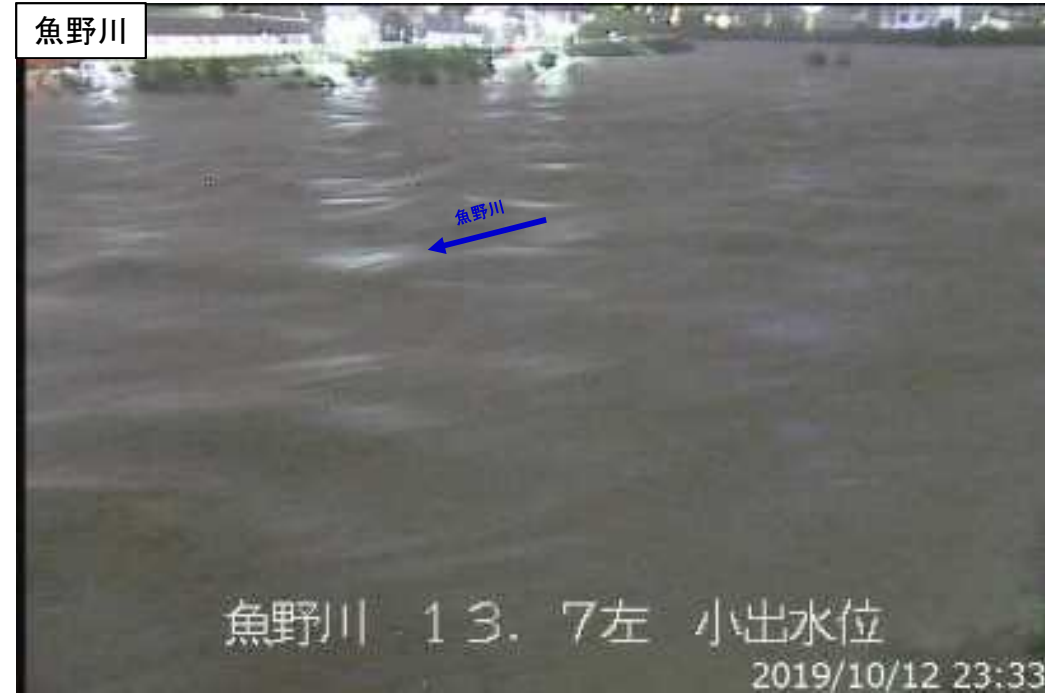
10/13 6:33 阿賀野川左岸32k8 新潟市五泉市馬下地先



10/13 6:58 阿賀野川左岸21k6 新潟市秋葉区六郷地先



10/12 23:33 信濃川左岸34k7 旭橋上流付近



10/12 23:33 魚野川左岸13k7 小出水位観測所付近

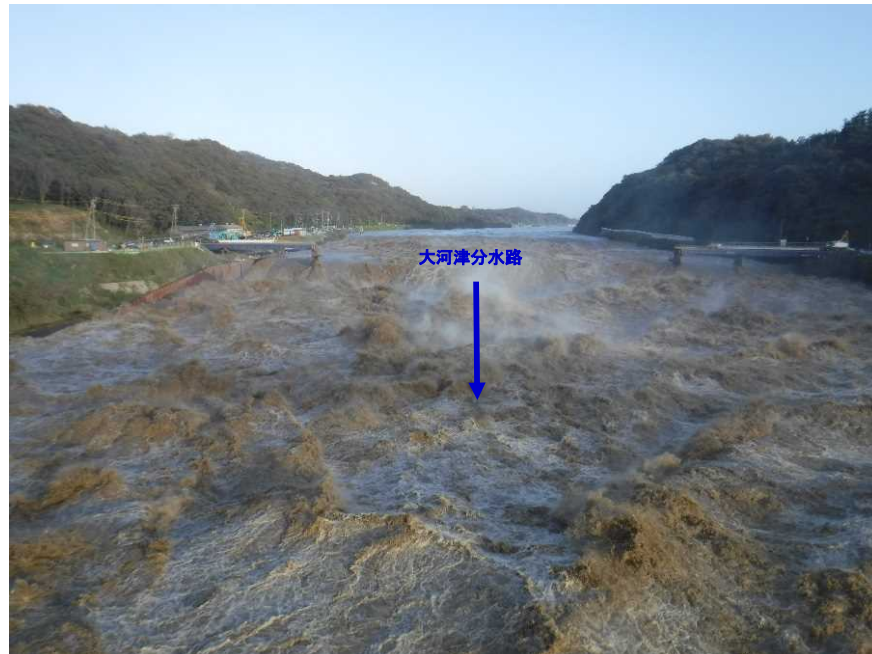




10/13 15:37 大河津分水路上空1k8 JR越後線 信濃川分水橋梁付近



10/13 15:42 大河津分水路左岸1k8 JR越後線 信濃川分水橋梁付近



10/13 16:22 大河津分水路8k2 野積橋より上流方向を望む



10/13 16:06 大河津分水路右岸8k 第二床固副堰堤付近



# 出水状況写真（関川水系関川・保倉川）

関川



10/13 8:00 関川上空9.4k 中央橋付近



10/13 0:28 関川左岸7.1k 高土町付近



10/13 0:27 関川左岸8.4k 高田観測所付近

保倉川



10/13 6:10 保倉川右岸0.5k 港町第四排水樋管付近



10/13 2:29 保倉川右岸3.1k 佐内観測所付近



# 信濃川水系信濃川 河川改修事業の効果

- 台風19号の影響により、赤湯雨量観測所※では累加雨量352mm(10月12日1時～10月13日24時)を観測し、小千谷水位観測所では、計画高水位を超過し、観測史上最高水位50.19m(10月13日10:20)を記録。
- 信濃川の小千谷市東小千谷地区では、仮に築堤を行っていなければ、小千谷市内で家屋浸水が発生していたと想定されるが、平成14年から平成21年まで築堤事業を行ったことにより、河道内で洪水を流下させることができ、小千谷市の住宅地への浸水防止が図られた。

※信濃川中流管内雨量観測所で最大累加雨量地点

位置図



## 出水の状況



旭橋付近 10/10 9時時点

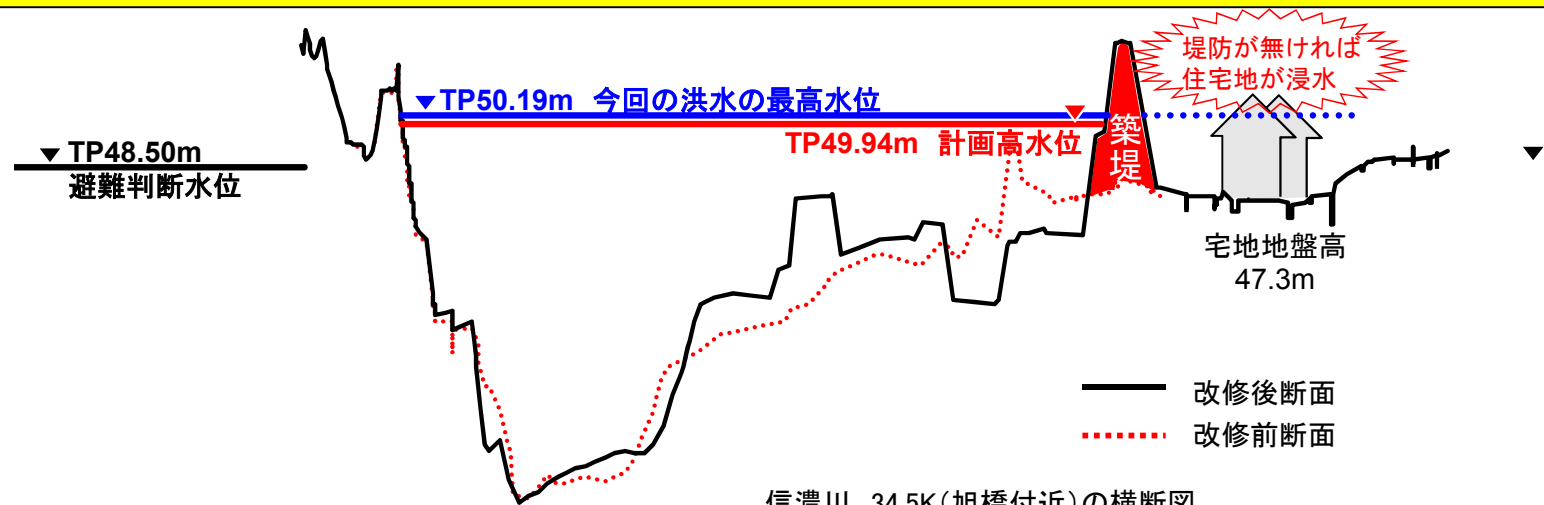


旭橋付近 10/13 10時時点

## 東小千谷地区 整備状況(H14～H21)



## 今回の洪水における築堤の効果



信濃川 34.5K(旭橋付近)の横断面図

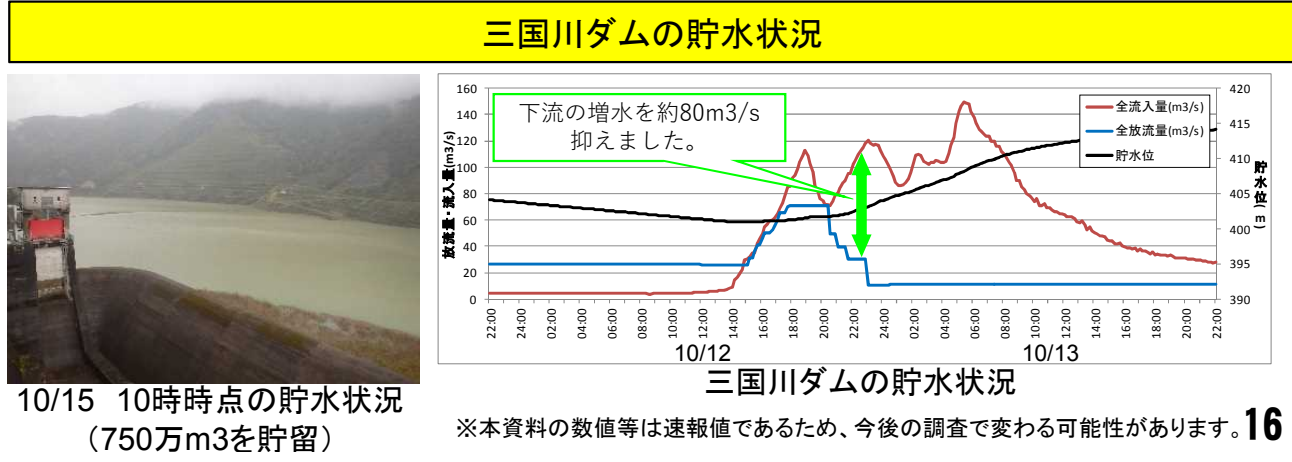
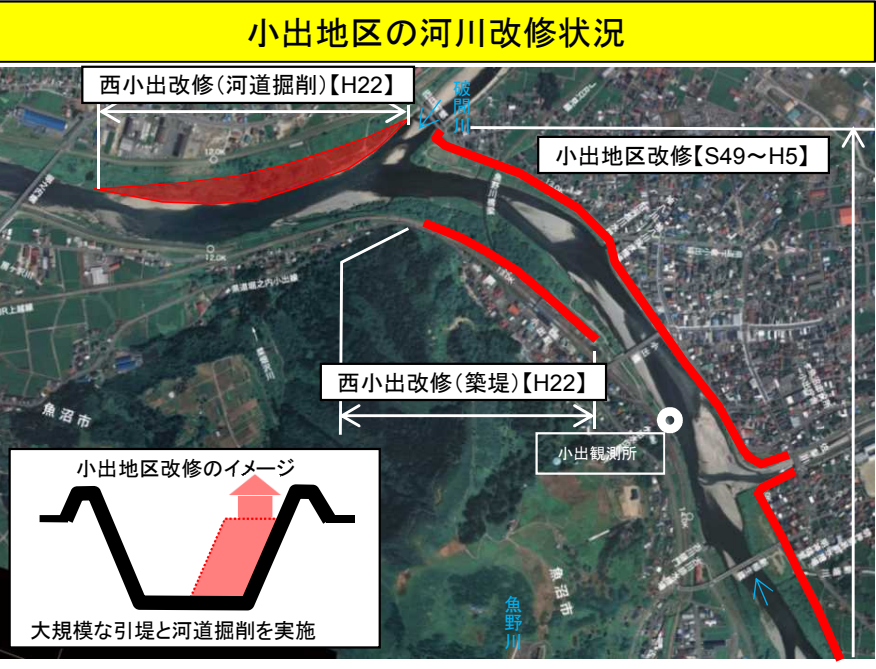
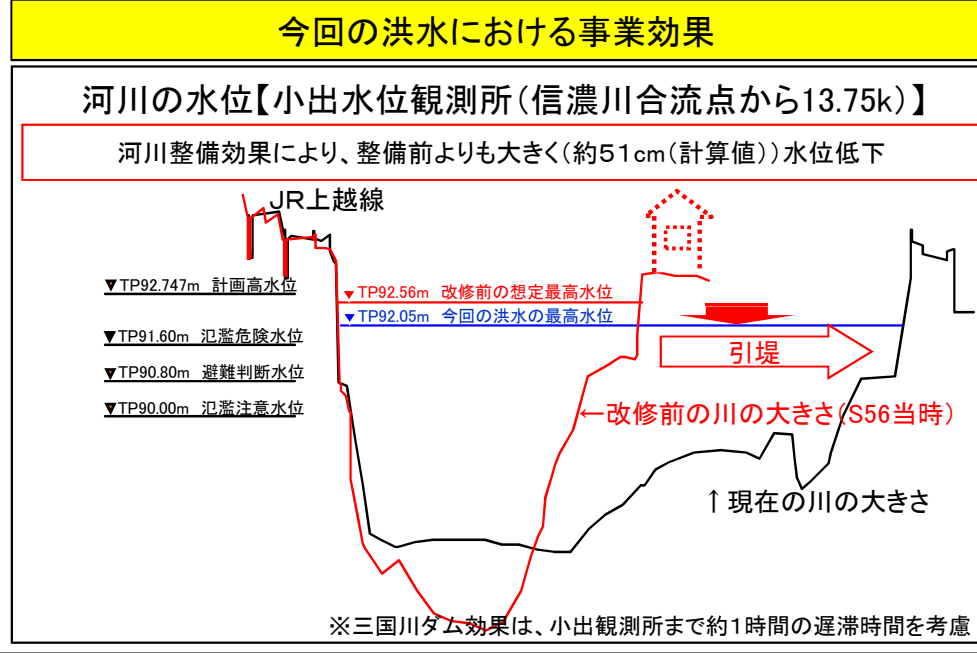
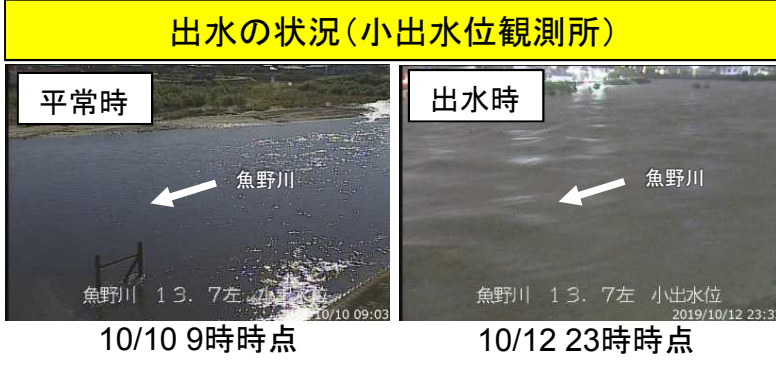
※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。



# 信濃川水系魚野川 河川改修事業及びダム事業の効果

- 10月12～13日の台風19号の影響により、赤湯雨量観測所※1では累加雨量352mm(10月12日1時～10月13日24時)を観測し、小出水位観測所では、氾濫危険水位を超過。
- 平成22年までに行った小出地区の引堤、西小出地区の河道掘削及び、三国川ダムの整備効果により、13.75k地点(魚沼市小出水位観測所地点)では約51cmの水位低減が図られた。
- 小出水位観測所での最高水位92.05m発生時(10月12日23:30)、三国川ダムによって約80m<sup>3</sup>/sの流量を抑えた(10月12日22:30時点※2)。
- 氾濫危険水位を超過する洪水に対して、河川整備が効果を発揮。

※1信濃川中流管内雨量観測所で最大累加雨量地点  
※2三国川ダム効果は、小出観測所まで約1時間の遅滞時間を考慮



# 国土交通省「川の防災情報」

身近な「雨の状況」、「川の水位と危険性」、「川の予警報」などをリアルタイムでお知らせするウェブサイトです。



PC版

スマホ版



QRコードはこちら

パソコンから：<http://www.river.go.jp/>  
スマートフォンから：<http://www.river.go.jp/s/>

## 【問い合わせ先】

(気象概要、出水概要に関する問い合わせ)  
国土交通省 北陸地方整備局 河川部 水災害予報センター  
(河川改修事業の効果に関する問い合わせ)  
国土交通省 北陸地方整備局 河川部 河川計画課  
〒950-8801 新潟市中央区美咲町1-1-1  
TEL 025-280-8880(代)